



♡ にゅるる〜ん! ♡  
エッチな触手で陵辱にゃ!

18  
R  
成年指定

# ～プロローグ～

新たに現れたネガトーン。  
メロディとリズムは暗い倉庫の中、ネガトーンの触手に捕らえられていた。

キュアメロディ 「くっ！ 放せ！」  
キュアリズム 「やだっ！ 何これ?! めるめるしてる!」

キュアメロディ 「リ：リズム！ 服が解ける!?」  
キュアリズム 「きゃっ！ メロディ！ あなたの服も!」

セイレーン

「くっくっ：良い格好だなプリキュア」  
「その触手の粘液は、プリキュアの力を中和する成分があつてな…」  
「それが付着している限り力も使えないし、  
その力で形成されている服も溶けるのさ」

メロディリズム 「そ…そんな…」

セイレーン

「まあ、こちらとしては、音符も手に入った事だし  
このまま放してやっても良いが…」  
「条件がある」

キュアメロディ 「な！ 何よ?!」

セイレーン

「今後私達の邪魔をしないと約束しろ」  
「そうすれば二人とも放してやつてもいいぞ」

キュアメロディ 「ば：馬鹿にしないで！ 私達はプリキュアよ！」  
キュアリズム 「そうよ！ アナタ達の勝手になんかさせないわ!」

セイレーン

「ふん…」  
「じゃあ：二度と邪魔出来ないように  
身体に教えてあげなきゃね♪」

キュアメロディ

「やれるものならやってみなさいよ！」  
「そんな脅し恐くなんてないんだから!」  
「このばーか！ デコっばちい!」

セイレーン

「デコっ?!」  
「くっ…」  
「ネガトーン?!」  
「この小娘から先にやつておしまい!」

ネガトーン

「むおおおおおおおん!」  
雄叫びを上げると、ネガトーンの身体から  
ヘッドホン型の触手が飛び出しメロディの両耳を塞いだ。

キュアメロディ 「な！ 何よこれ?! 気持ち悪い!」

メロディは、頭をブンブンと振りヘッドホンを外そうとするが  
触手で縛られているため、思うように身体が動かない。

セイレーン 「さあ！ 快楽の海で溺れなさい!」

セイレーンの合図と共に、ヘッドホンから妖艶な音楽が響きはじめた。

キュアメロディ 「な：何よこの下品な音楽!」

「これが攻撃なの？ 笑つちゃうわ!」

セイレーン

「くっくっ…」  
「大きな口を叩けるのも今のうちだけさ」

キュアメロディ 「え?」

そう呟いた瞬間、響は自分の身体が火照っている事に気が付いた。

キュアメロディ 「や：やだ：な：なによこれ…」

セイレーン

「その音楽は人の性欲を掻き立てる音楽なのさ」  
「曲が終わる頃には、理性もない淫乱プリキュアの出来上がり：つてわけ」

キュアメロディ 「だ：誰がこんな曲なんかには：  
負ける：もんですか…」

キュアリズム 「メロディ!」

セイレーン 「ふふ：曲を聞き終わって、同じ事が言えるかしら」

キュアリズム 「や：止めて!  
メロディを放して!」

セイレーン

「慌てなくても、お前も気持ち良くしてやるよ」  
「それまでお友達の観察でもしてなさい」

キュアリズム

「くっ…」

セイレーン

二人が話していると、メロディの身体が痙攣し始めた。  
「おっと：曲が終わったみたいね」  
「ネガトーン！ ヘッドホンを外しなさい」

ネガトーン

「おおおん」  
キュアメロディの頭からヘッドホンが外された。

キュアメロディ 「はあ：はあ：はあ…」

キュアリズム 「メロディ！ 大丈夫?!」

呼びながらリズムは、メロディの顔が高揚している事に気付いた――

キュアリズム 「メロ…ディ…?」

















ふええ…  
ミルクまで  
出ちゃってるよう…

?!

キョロキョロ

や…やだり?!  
オツパイが  
大きくなってるー?



ゾゾゾ

!!

ダ…ダメ!!  
入ってこないで!

ゾゾゾ

キョロキョロ

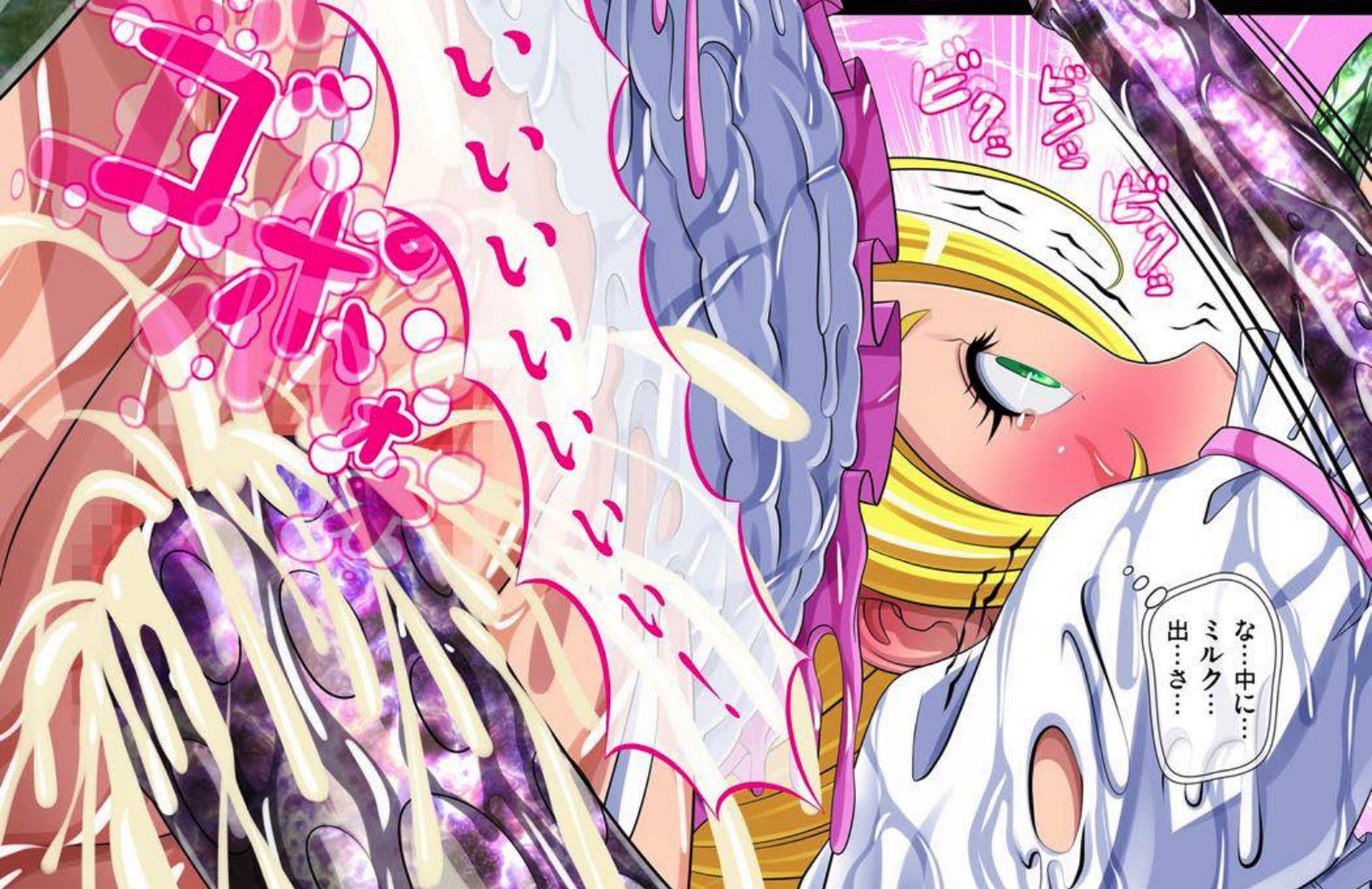
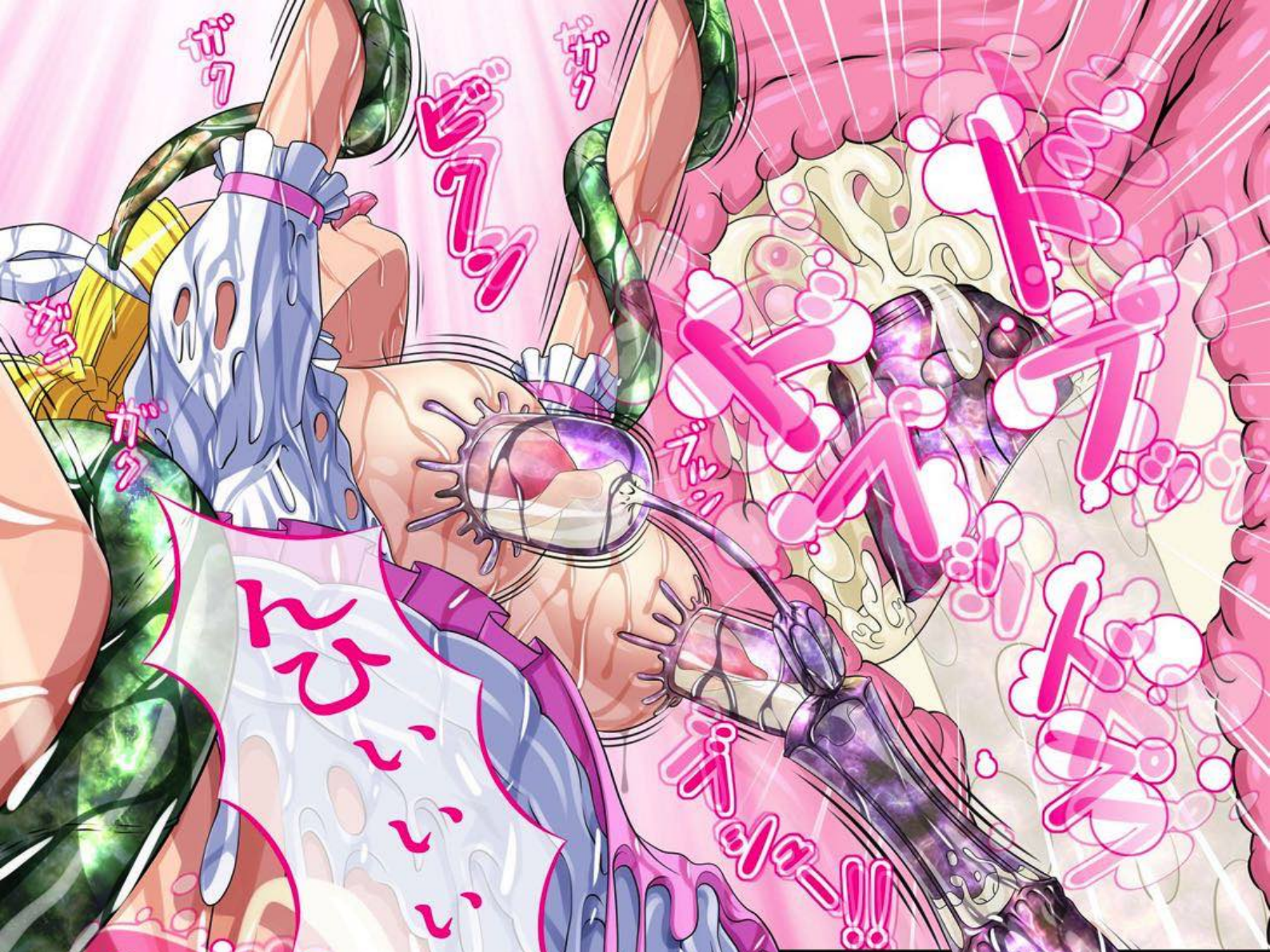
たゆん



ゾゾゾ

なんで?!  
なんで初めてなのに  
痛くないの?

ゾゾゾ



な…中に…  
ミルク…  
出…さ…





おっ...  
おっ...  
おっ...  
コッおっおっ!!

はじゅかひの...  
はじゅかひの...  
はじゅかひの...



トっちやっ...!

やっ...や...  
やっ...!

やらあああ  
はげひい...  
はげひい...

トっちやっ...!

しゅ...  
しゅ...  
しゅ...





# ATOYAKI

初めまして！またはお久しぶりです！  
灰雷兎と申します。

今回はプリキュアを  
触手でモニュモニュしてみました  
如何だったでしょうか？

しかしアレです。

プリキュア観てると、  
どうもキュッペえが脳裏を過ぎってしまいます。

未恐ろしい・・・

それでは、  
ここまで目を通して頂いて  
ありがとうございました。  
またお会い出来ることを  
願いつつ(・ω・)♪

灰雷兎



**発行日** 2011年08月

**発売元** きゃろっとワークス

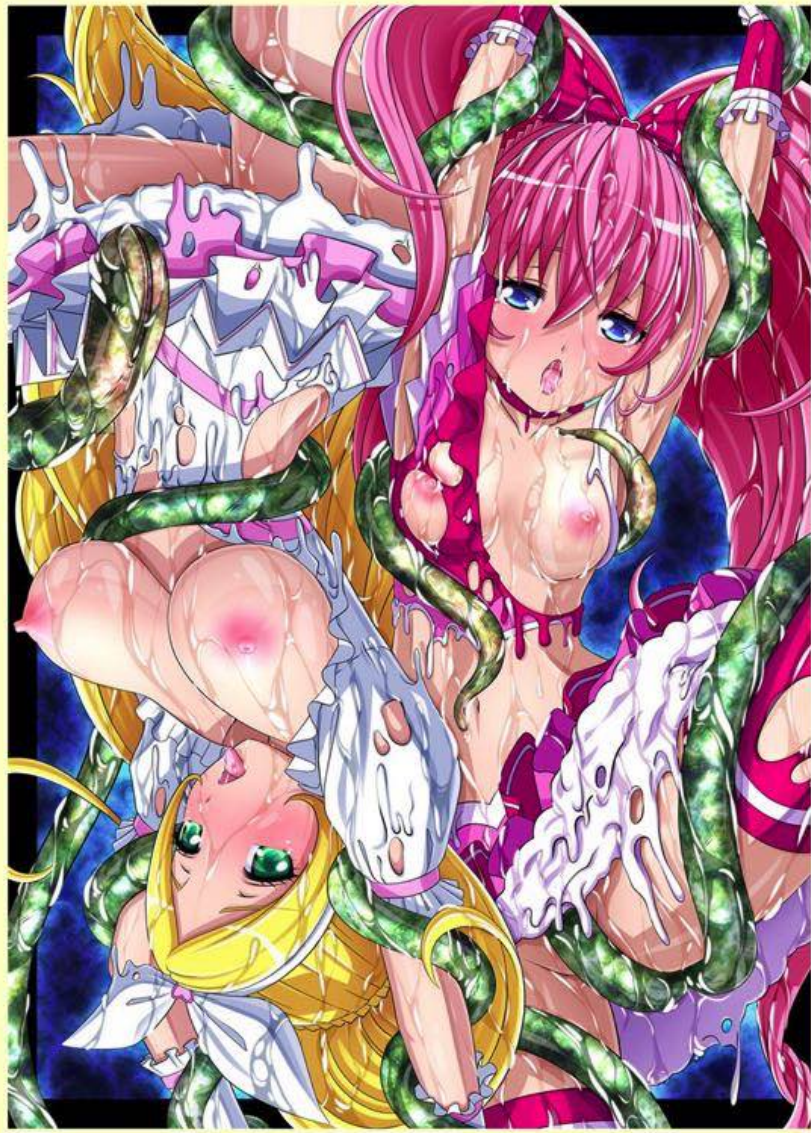
**発行者** 灰雷兎

HP: <http://johnny-do.com/raito/>

Mail: [carrot@johnny-do.com](mailto:carrot@johnny-do.com)

※本作品の無断複製・無断転載・Webへのアップロード禁止

※18才未満の購入・購読を禁止します



♡ にゅるる〜ん! ♡  
エッチな触手で陵辱にゃ!

きゃらっとフェークス/灰雷兎  
.....2011/08.....